

宮崎県立図書館ビジョン（平成29年12月策定）

# アクションプラン

～ 「知の共有・創造」を支える全県図書館ネットワーク～

第1期【平成30年度から3年間】



平成30年3月  
宮崎県立図書館

## ■アクションプランの策定について

宮崎県立図書館は、県立図書館の今後目指すべき姿や果たすべき役割、今後の施策展開の方向性等を明確にした「**宮崎県立図書館ビジョン**」を平成29年12月に策定したところです。

このビジョンでは、《「**知の共有・創造**」を支える**全県図書館ネットワーク**》を基本目標に掲げて、県立図書館を核に、市町村立図書館（室）や学校図書館、大学図書館等との連携・協力により、県内の図書館全体の振興を図ることとしています。

このため、ビジョンの考え方や内容等を関係者に対しわかりやすく説明し、理解と協力が十分に得られるよう努めるとともに、**ビジョンを具体化し、着実に実行するため、平成30年度からの3年間を第1期として優先的に取り組む施策や数値目標等を明らかにした本アクションプランを策定**するものです。

このプランにおいては、施策の効果を測る指標を設定し、毎年度検証しながら進行管理をし、関係者に明らかにするとともに、施策の見直しに反映させることに努めます。

## ■アクションプランの内容について

このアクションプランにおいては、ビジョンにおいてとりまとめた「**今後の施策展開の方向性**」に沿って、5つの柱ごとに具体的な施策を整理し、その成果を評価する指標を掲げることとします。

基本  
目標

# 「知の共有・創造」を支える全県図書館ネットワーク

## 県立図書館の基本的役割

どこでも

I 「全県的な読書環境」を整える図書館

ささえる

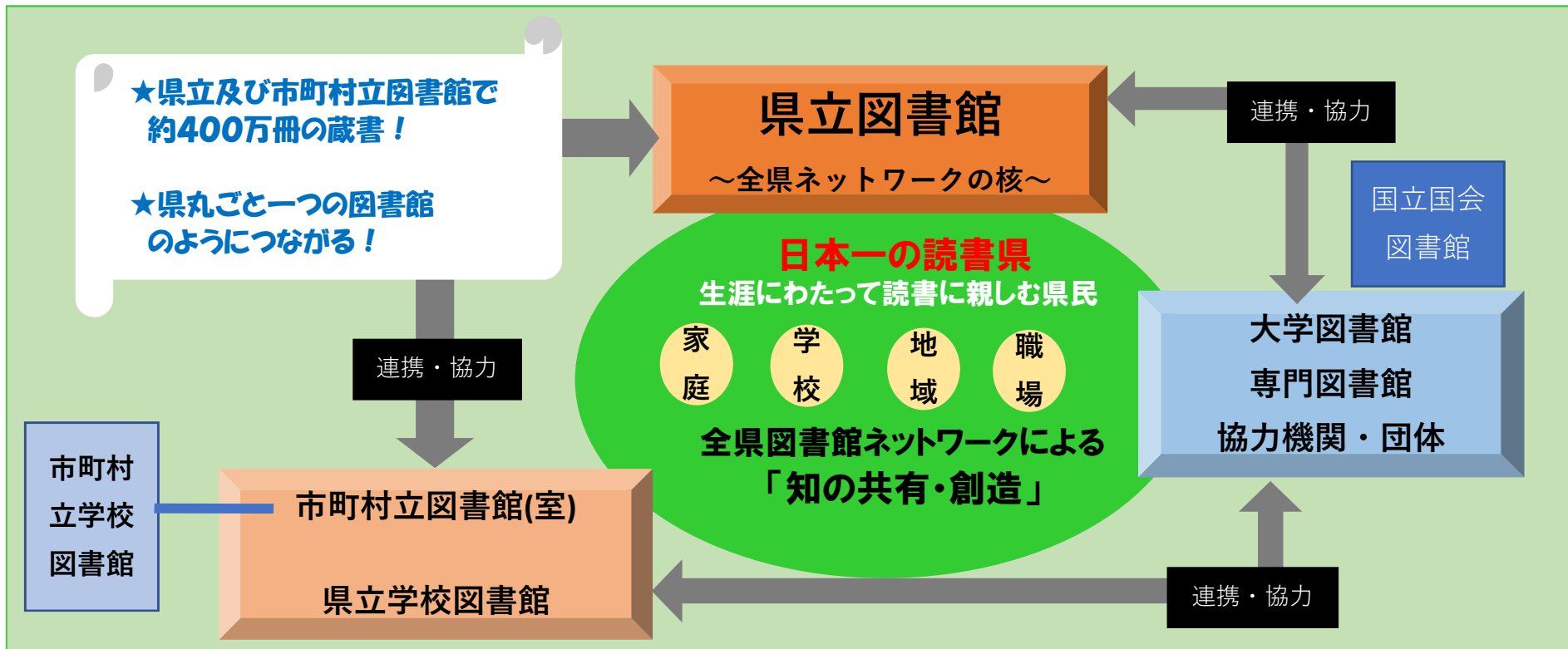
II 「図書館」を支える図書館

つながる

III 「知の共有・創造の拠点」となる図書館

## 今後の施策展開の方向性

- ①全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核となります。
- ②県立図書館ならではの専門的なサービスの充実を図ります。
- ③「知の共有・創造」による深い学びや課題解決を支援します。
- ④みやざきの文化の理解・継承を促進します。
- ⑤図書館ネットワークを支える人財を育成します。



# ① 全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核となります。

県民が生涯にわたって本に親しむことや、生涯にわたる自主的な学習活動を支援・促進していくことは、県立図書館に課せられた役割であると同時に、「日本一の読書県」の実現に資するものです。県民から頼られる県立図書館となるため、リーダーシップを発揮し、公共図書館や学校図書館、大学図書館等とのネットワークの充実や図書館相互のサービスの向上を図りながら、全県的な読書環境の整備と図書館サービスの充実を図っていきます。

## 1 市町村立図書館（室）等の支援

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
図書配送システムの活用及び周知	県民がいつでも、どこでも本を読むことができるようにするための図書配送システム「マイラインサービス」や「やまびこ文庫」の利用促進を図るため、市町村立図書館（室）等におけるチラシ配布やポスターの掲示、県政広報番組やホームページ・SNSでの広報など、様々な方法により制度周知を積極的に行う。 また、県立学校や大学等と「マイラインサービス」の接続先の拡充について必要な協議・検討を行う。 子育て支援図書セットについては、利用者ニーズの把握に努め、セットの構成の検討を行い、資料の充実を図る。
「市町村支援チーム」による巡回訪問等	県立図書館内の組織横断的なチームによって市町村立図書館（室）等を定期的に訪問し、読書振興、資料収集・保存、施設運営等についての支援を継続的に行う。

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
専門研修の実施等	宮崎県公共図書館連絡協議会が行う研修について、研修ニーズの把握や分科会方式など実施方法の工夫を行い、公立図書館職員の資質向上に資するとともに県民の読書振興や課題解決につながる専門性の高い研修を実施する。

※宮崎県公共図書館連絡協議会（公図連）は、宮崎県立図書館及び宮崎県内の市町村立図書館（室）によって構成された、図書館事業の進展を図ることを目的とする協議会である。

評価項目	現況値	目標値		
	28年度	30年度	31年度	32年度
マイライン貸出冊数	4,900	6,900	7,500	8,100

## 2 学校図書館の支援

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
県立学校図書館に対する支援	県立学校の学校司書等との情報交換など連携を密にし、学校図書館の運営やスキル向上のための支援を行う。
学校図書館の活用推進	関係機関と連携して、新たに図書館担当となった職員向けの手引きや、新学習指導要領に対応した学校図書館を活用した学習活動の支援などに関する調査研究を行う。 さらに、市町村立図書館（室）と学校図書館が連携した取組について調査し、市町村立図書館（室）に紹介するなどして、学校図書館の支援につなげる。

### 3 市町村立図書館、学校図書館、大学図書館等とのネットワークの構築

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
人的ネットワークづくり	宮崎県公共図書館連絡協議会及び宮崎県大学図書館協議会の会議・研修や個別の協議等の場において、市町村立図書館（室）、学校図書館及び大学図書館等の職員との情報共有・意見交換を行い、「顔の見える関係」づくりを進める。
大学との連携協力	「国立大学法人宮崎大学と宮崎県立図書館との連携協力に関する協定」に基づき、図書館資料及び学術情報の相互活用や地域情報及び地域における文化の継承、レファレンス、図書館職員の資質向上、図書館を活用した県民の生涯学習の推進、個人や地域の課題解決の支援等について連携し、協力する。 また、大学図書館と、横断検索への加入や相互貸借の実施等に向けた意見交換・協議を行う。
市町村立図書館（室）との連携	マイラインの流通システムを活用した市町村間の相互貸借について、市町村立図書館（室）への働きかけや現状の調査・情報提供を行い、活性化を図る。

評価項目	現況値	目標値		
	28年度	30年度	31年度	32年度
市町村間の相互貸借における貸出冊数	4,908	5,100	5,200	5,300

#### 4 図書館活動を支える施設・システムの維持管理

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
所蔵資料の収蔵対策	資料の除籍や配架変更の検討・実施により書庫スペースの確保を図りながら、収蔵力の向上について調査・検討を行う。
老朽化対策	改修が必要な施設・設備の把握を行い、計画的な修繕及び緊急性を要する箇所の早急な改修に努める。
危機管理対策	消防施設等の確認作業や、避難訓練、救命研修(心肺蘇生法・AED等)をマニュアルに沿って適切に実施する。
図書館情報システムの見直し	図書館システムの状況やニーズ等を踏まえ、次期システムについて検討していく。

## ② 県立図書館ならではの専門的なサービスの充実を図ります。

すべての県民の調査・研究の様々なニーズに対応するため、他の専門機関との連携や国立国会図書館協同データベースの活用による**レファレンス（調査相談）サービスを充実**させることや、すべての県民が**様々な専門的分野についてより多くの資料を利用できるような取組**を推進します。

さらには**中高校生や子育て・就労世代等の読書振興**を図るため、「日本一の読書県」に資するモデル性の高い取組を強化していきます。

### 1 レファレンスサービスの充実

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
利用者ニーズに対応した情報提供、調査・研究の支援	蔵書資料や関係機関等の紹介などの確かな情報提供に努めるとともに、相互貸借サービスや複写サービスなどを行う。
国立国会図書館協同データベースの活用	協同データベースへの登録を促進し、適正かつ迅速なレファレンスに資するデータ蓄積に努める。 また、協同データベースを活用して地域の課題解決が促進されるよう、市町村立図書館(室)による利用促進にも努める。
レファレンス担当職員の能力向上	県外で実施される専門研修に職員を派遣する。 また、市町村立図書館、大学図書館等を含めた担当職員を対象にレファレンス研修を実施し、県全体のレファレンス能力の向上に努める。



評価項目	現況値	目標値		
	28年度	30年度	31年度	32年度
データベース登録件数（累計）	1,074	1,095	1,105	1,115

## 2 専門的な資料・情報の収集・整理・保存・提供

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
特色ある専門的な資料の収集・整理・保存・提供	<p>子どもたちの読書振興や学校教育の支援、自然環境の保護、産業振興、地域や社会人支援など、年度ごとに重点項目を定めて資料収集に取り組む。</p> <p>資料収集に当たっては、市町村立図書館（室）との役割分担や、県立図書館としてより専門的な資料収集を図ることを利用者に対して説明する。また、大学や研究機関等との連携を図る。</p> <p>なお、電子書籍の導入については、他県の状況等の情報収集に努める。</p>
新学習指導要領に対応した図書資料（調べ学習用図書）の収集	新学習指導要領において調べ学習を行うこととされている教科について、図書資料の選定・収集を行い、貸し出す。
「世界ブランド」みやざきづくりの視点に立った知の収集・共有	世界農業遺産やユネスコエコパークなど「世界ブランド」を目指す分野について、市町村立図書館（室）と連携して資料の収集や情報発信に努める。

### 3 生涯読書活動の推進

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
乳幼児や小学生の読書活動推進	<p>児童室において読み聞かせを実施するとともに、「こどもの読書週間」など、季節、時期に応じた本の紹介や企画・展示等を行う。</p> <p>また、学習指導要領の改訂や時代の流れに対応し、生涯読書活動の推進と連動した新たな取組として、「英語で楽しむおはなし会」や「理科読」などを行う。</p>
中・高校生の読書活動推進	<p>青少年向けに設置している「わかば」コーナーの充実を図るとともに、季節、時期に応じた企画展示による本の紹介を行う。</p>
大学生・若者の読書活動推進	<p>青少年「わかば」コーナーを活用するほか、宮崎県大学図書館協議会と連携した読書振興の検討・実施等に努める。</p> <p>また、「若い人に贈る読書のすすめ」リーフレットの配布など、情報発信に努める。</p>
子育て・就労世代の読書活動推進	<p>児童室内の子育て支援コーナーにおいて、子育て世代向けの情報発信や子育て相談おはなし会を行う。</p> <p>また、児童室の資料を活用した大人のための読み聞かせや、利用者参加型のブックトークなどを行う。</p> <p>さらに、地域の読書活動団体や職場等と連携した読書活動の促進に努める。</p>
高齢者の読書活動推進	<p>大活字本コーナーの整備など、高齢者が読書しやすい環境整備を図る。また、「敬老の日読書のすすめ」リーフレットの配布など、高齢者に対する情報発信に努める。</p>
障がい者の読書活動推進	<p>障がい者サービス（来館が困難な程度の障害を有する方々への無料郵送貸出、視覚障がい者等のための音声録音図書の貸出など）について、市町村立図書館（室）や関係機関へのチラシ配布などにより周知を図り、利用促進に努める。</p>

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
各世代に共通する読書活動推進	<p>「秋の読書週間」など、季節や時期、各世代に応じた本の紹介や企画・展示等を行う。</p> <p>また、中・高校生向け、社会人一年生向け、子育て世代向けなど各世代を対象とした「おすすめの本」を募集し、全県に広く普及させるとともに、ビブリオバトル、ブックトーク、アニメーション、ストーリーテリングなど、モデル性の高い読書スタイルの提案・実施に努める。</p> <p>また、読書ボランティアの知識・技術の向上に向けた研修（後継者の養成を含む）など、読書活動推進団体に対する支援を行う。</p> <p>さらに、優良読書グループ推薦表彰や子供の読書活動優秀実践図書館等表彰により、読書活動推進に向けた気運の醸成を図る。</p>

評価項目	現況値	目標値		
	28年度	30年度	31年度	32年度
県立図書館及び市町村立図書館（室）の貸出総数	3,980,406	3,988,380	3,994,370	4,000,360
障がい者サービスの貸出点数	340	420	460	500

#### 4 他の専門機関との連携

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
ビジネス支援サービスの実施	宮崎県産業振興機構、県工業技術センター等、関係機関との連携によるセミナー等を実施する。また、レファレンスにおいて専門機関とのネットワークを構築し、的確な紹介や情報提供に努める。
医療・健康情報支援サービスの強化	健康づくり情報コーナーの充実を図るとともに、宮崎大学等と連携して、がん支援相談センターの紹介等の情報提供や相談会等の場の提供に努める。

## 5 館外活動の実施

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
読書関連イベント等への協力	市町村立図書館(室)、民間団体等が実施する読書関連イベントへの協力を行う。

## ③ 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決を支援します。

地域や個人の課題解決を支援する機能をより高めるため、今後さらに、県立図書館の情報資源（図書、視聴覚資料、データベース等）の充実や職員の専門性の向上を図るとともに、課題に応じた情報サービスの提供や県民の自主的・自発的な学習活動を支援する多様な学習機会の提供、さらには深い学びや課題解決を図る「知の共有・創造」の場づくり、県内の自治体の政策立案の支援等を行います。

### 1 情報アクセス環境の整備

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
県立図書館としての情報発信	当館の情報資源や取組の紹介、課題解決に向けた情報提供を、ホームページ、SNS、広報誌、ロビーでの展示等を通じてよりわかりやすく、かつ、適時・的確に行う。
効率的・多面的な情報アクセス環境の整備	<p>利用者の深い学びやより効率的な課題解決が促進されるよう、国立国会図書館、都道府県立図書館、大学図書館、専門機関等との連携を強化し、情報収集のアクセス先の増加や利用者に向けた調べ方ガイドの充実に努める。</p> <p>また、情報資源検索の手がかりとなる書誌情報の充実にに向けた検討やオープンデータ化に係る調査研究を行う。</p>

評価項目	現況値	目標値		
	28年度	30年度	31年度	32年度
ホームページのアクセス件数	157,479	700,000	750,000	800,000
SNS記事閲覧件数	63,429	70,000	75,000	80,000
SNSフォロワー数	232	400	450	500

## 2 課題に応じた情報サービスや「知の共有・創造」の場の提供

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
ワンストップサービス	<p>多岐にわたる課題に対して、相談のワンストップ窓口としてのスキル向上に努めるとともに、専門性の高い事項については専門機関等の紹介ができるよう、関係機関・団体等との連携を推進する。</p>
多様な情報サービスや学習機会の提供	<p>県の重点施策や地域の課題等の周知を図り課題解決を支援するためのギャラリー展を、テーマを精選して実施するとともに、県内各地において県の重点施策等の周知を図るための巡回展を実施する。</p> <p>また、各種相談事業について、関係機関と連携しつつ、より一層課題解決に資するものとなるよう内容の充実を図る。</p> <p>さらに、児童・生徒の調べ学習の来館受入れや学校現場における調べ学習の支援に努めるほか、読書団体に対し、研修やイベントなどについてメール等を活用した情報発信を行う。</p>
個人や団体、産学官の関係者などの深い学びの場づくり	<p>地域の「知の拠点」としての蔵書、データベース等の情報資源やレファレンス機能の充実・強化を図りながら、個人や団体、産学官の関係者など多様な主体が集い、図書館の有する情報資源や機能を活用した対話や議論を通じて学びを深め、人財育成や個人・地域が抱える課題解決につながる「知の共有・創造」の場づくりを促進する。</p> <p>このため、複数の人が集まって、図書館で得られる様々な情報を用いて議論を進め、学びを深めていくグループ学習（ラーニング・コモンズ）の促進やコーディネート機能の充実を図る。</p> <p>また、試験研究機関の研究成果発表や大学・専門機関等が主催する講座・セミナーの場としての図書館の利活用促進や成功事例の紹介・周知などにも努める。</p>

### 3 政策立案の支援

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
県行政機関や県内自治体への政策支援	県行政機関や県内自治体への参考情報等の周知を行うとともに、事例や文献の調査など、地域の政策形成や行政施策決定につながるレファレンスを行う。

### 4 地域の実情に応じた課題解決型サービス

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
市町村立図書館(室)の支援	市町村立図書館(室)が行うレファレンスを支援するとともに、レファレンス手法の研修・助言などの支援を積極的に行う。 また、県立図書館職員を派遣して行う講習によって、資料の収集や活用、レファレンス、著作権、読書活動(アニメーション、ビブリオバトル)等に係る情報提供や助言を行い、市町村職員の課題解決に係る資質向上を支援する。

## ④ みやぎの文化の理解・継承を促進します。

個性と魅力ある地域づくりを支援するため、歴史資料だけではなく、行政資料や映像資料等も「**地域資料**」として、市町村との役割分担を踏まえて**収集・保存・活用**するとともに、広く県民に活用してもらうため、**デジタルアーカイブの周知や、貴重書等のデジタル化**を行います。さらには、市町村や関係機関等と連携し、本県の優れた**言語文化の理解・継承**やそれを担う**人財づくり**に取り組みます。

### 1 地域資料の収集・保存・活用の全県的な促進

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
より専門的な資料の収集	市町村立図書館(室)に対して地域資料の収集状況の調査を行い、重点収集項目の検討を行う。また、検討結果を踏まえて収集計画を策定し、年度ごとに効率的な収集・保存に努める。
県全体での効率的・効果的な資料収集による資料の充実と共有化	市町村立図書館(室)との情報交換を重ねながら、歴史・文学資料や産業関係資料など、地域が必要とする資料を把握するとともに、県と市町村の役割分担を検討・整理し、収集計画に取り込んで効率的・効果的な資料収集を行う。



## 2 地域情報の収集・整理・発信

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
個性と魅力ある地域づくりへの貢献	過去の展示・講座の実績や利用者のニーズを把握し、地域情報の積極的な収集に努めながら、年度ごとに時宜を得たタイムリーな計画を策定する。さらに、収集した資料を活用して、歴史・文化はもとより、自然や産業など幅広い地域情報の発信を行う。
本県文化の魅力の発信	地域資料に係る刊行物を作成するとともに、2020年度に本県で開催される国民文化祭やオリンピック・パラリンピック東京大会の開催を視野に入れて、ホームページ等により様々な地域情報を発信し、本県文化の魅力をアピールする。

評価項目	現況値	目標値			
	28年度	30年度	31年度	32年度	
単年度の資料受入れ点数	2,021	1,900	1,900	1,900	
刊行資料の累計	118	121	122	123	

## 3 地域情報のデジタル化・データベース化

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
地域情報のデータベース化による一元管理	県立図書館及び市町村立図書館等の所蔵する地域情報に関する貴重資料の調査を行い、情報の集約に努める。
貴重書のデジタル化(デジタルアーカイブ)の推進	歴史資料など、劣化が懸念される地域資料のデジタル保存に努めるとともに、デジタル化した資料のデータ登録を推進する。データ登録した資料はデジタルアーカイブに追加し、ホームページ等での情報発信を行う。

評価項目	現況値	目標値		
	28年度	30年度	31年度	32年度
デジタル撮影資料の登録冊数	184	370	460	550
デジタルアーカイブへのアップ点(冊)数	959	969	979	989

#### 4 本県の言語文化の継承

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
「語り部」の養成及び活用推進	平成30年度までは「語り部」の養成を行い、養成した「語り部」については、派遣・紹介や情報交換・学び直しに努めるとともに、観光振興策との連携を促進する。 また、国民文化祭を本県言語文化の発信の好機として、「語り部」の活用について検討する。
「みやざきの言の葉」の普及・活用	本県の言語文化の素晴らしさを後世に伝えるため、「みやざきの言の葉」のさらなる普及・活用を図る。

## ⑤ 図書館ネットワークを支える人財を育成します。

今後、地域や個人の抱える課題と、その解決に向けた生涯学習ニーズがともに高度化・多様化していく中で、県内の図書館全体で、**幅広い知識や技能、実務能力及びネットワーク力を有する人財の育成・確保**が計画的に行われるように取り組みます。

また、県立図書館の組織や事業についても、**サービスの評価に基づいて継続的に改善**していきます。

### 1 専門的なサービスを支える人財の育成・確保

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
幅広い知識や技能、ネットワーク力を有する人財の育成・確保	司書講習のほか、ビジネス支援、レファレンス、子どもの読書振興、デジタルアーカイブなどの専門研修への職員の計画的な派遣を行い、専門的な実務能力の向上を図る。 接遇や危機管理など、利用者サービスの向上やコンプライアンス意識の徹底に資する研修を行い、職員の全体的な資質向上に努める。 高度なニーズに対応できる幅広い知識や技能等が得られる人事配置のあり方を検討する。
市町村立図書館(室)との人事交流や中長期の研修受け入れの検討	人事交流や中長期の研修受け入れについて、市町村の意向を踏まえながら検討する。

## 2 新たな知識の習得・共有

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
情報の収集及び研修成果の共有	図書館の運営やサービスの動向等について、幅広く情報収集に努めながら、業務に必要な新たな知識を習得させる研修に職員を派遣する。 また、職員が受講した専門研修等の成果を全職員で共有するようフィードバックに努め、館全体でのスキル向上を図る。

## 3 組織及び事業の改善

取組事項	行動計画(平成30年度から3年間)
利用者ニーズや社会の動向等の把握	利用者の声(緑陰ポスト、電子メール、来訪、電話等)や図書館協議会委員及び市町村立図書館(室)の意見要望等を踏まえ、必要な運営やサービスの改善に取り組み、利用者満足度の向上を図る。
組織や事業の自己点検や外部評価による課題の把握	図書館評価(自己評価及び外部評価)を毎年度実施し、随時必要な業務改善に努め、より効率的かつ効果的な図書館サービスの実現に取り組む。

担当 宮崎県立図書館

総務企画課 企画担当

☎0985-29-2911